企業・団体名（　株式会社カヤマ　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	･入社時教育を差別なく行っている。 ･社内教育を差別なく行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	･就業規則･服務規程に明記し、社員へ周知している。 ･月度の安全衛生委員会での監視している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･三六協定に準じた労働の監視･コントロールを行っている。 ･衛生委員会による、残業管理をしている。 ･残業の見える化による社員への周知を行っている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	･社内イベント(互助会行事)への参加を積極的に行っている。 ･社内掲示物の外国語版を作成し、掲示している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･危険個所の洗い出しを月一のKSESパトロールで行い、是正を行っている。 ･安全衛生委員会の定期開催している。 ･転倒防止の為、工場内の定期清掃している。 ･安全に関わるルールの掲示をしている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･ストレスチェック制度の実施、産業医による面談体制を整えている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･障害者雇用政策を推進。適材適所の就労を実践している。 ･シルバー人材センターの活用による、高齢者の雇用機会の確保をしている。 ･外国人の雇用機会の確保をしている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･教育計画を立て、社員のスキルアップを行っている。 ･外部講習の受講推進･資格取得の推進している。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	･同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･インフルエンザ予防接種費用を会社で一部負担している。 ･生活習慣病予防の為の保健指導の機会の確保をしている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	･廃棄物の分別処理を行っている。また、電子マニフェストによる廃棄物の種類･廃棄量の管理を行っている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	･電気･ガス･灯油等の使用量を把握している ･経済産業局へのエネルギー使用状況の定期報告を行っている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	･エネルギー管理者･管理員の選任を選任している。 ･省エネルギー設備の導入の検討を行っている。 ･ISOカードによる社員への環境意識の教育している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･SDS一覧表で使用化学物質の適用法令を把握している。 第四類危険物は消防法指定倍数を基に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	･環境方針を策定し、法令遵守活動の継続している。 ･放流水の水質調査(自主検査)の実施している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	･切削油のリサイクル使用を推進している。 ･消耗油の分別廃棄及び引き取りを行っている。 ･ガゼット袋再利用 ･切削工具の再研磨使用･有価買取を行っている。 ･切削油の蒸留分離により、水資源の確保をしている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	･製品洗浄後の洗浄水の再利用している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	･ISO14001:2015 認証取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	･HP活用により、社外への情報開示を行っている。 ･集会利用による社内への情報開示を行っている。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	･太陽光発電を設置している。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】天然資源の利用がないため												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･就業規則、服務規程で周知、教育を行っている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･就業規則、服務規程で周知、教育を行っている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･就業規則、服務規程で周知、教育を行っている ･電子データ保護の為、サーバーでの管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･就業規則、服務規程で周知、教育を行っている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･定期的なレビューをじっししている。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】協力メーカーとの取り組みとなるため時間がかかるため。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･IATF16949の準じたQMSの運用を行っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･IATF16949の準じたQMSの運用を行っている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	･環境に配慮した加工を行っている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】今後社会課題を解決する製品･サービスの開発･展開を行いたいが、時期が未定であるため。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・騒音測定を行っている。 ・河川直結分離槽の管理、最終放流水の水質確認を定期的に行っている。 ・夜間はフォークリフトのバック音がでないようにしている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域イベント・学校イベントへ寄付を行っている。 ・消防団協力事業所表示制度への登録している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地元企業を積極的に利用している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・トップマネジメントを、課ごとの方針実施計画書や、部門をまたいだ社内活動に展開している。 ・経営理念、環境方針が記載されたカードを各社員所有している。また、朝礼時に品質方針を復唱し、その理念を常に意識している。 ・集会によって、定期的に経営目標・理念を共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・ISOカード各方針にて社内周知している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・組織図を用いて,社内の企業活動態勢を整えている。 ・環境責任者を置き、社会環境に及ぼす影響に対応する体制を整えている。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・各お取引先のCSRに対応している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・緊急事態対応計画を策定し、定期的なレビューを行っている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】今後CSRに関する方針の策定を行う。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・緊急事態対応計画を策定し、定期的なレビューを行っている。 ・事業継続計画を策定し、周知している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	BCPの策定を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）